

# 被災した「わかき保育園」が名称を改め 新園舎「日台きぎずな保育園」で 保育を再開

東日本大震災で施設が全壊する被害を受けた山田町船越（通称田の浜地区）にあった「わかき保育園」は、名称を「日台（にちだい）きぎずな保育園」（柏谷千代子園長、職員5名）と改め、11月1日から新園舎で保育を始めた。

新園舎は日本赤十字社と台湾赤十字社の救援金1億9,100万円を受けて、浸水区域外の船越（通称浦の浜地区）の高台に建設されたもので、鉄筋平屋建て、延べ床面積801平方メートル。広い園庭を備えています。

園入口には「赤十字を通じて台湾の人々から支援を受けて建設されました。日本と台湾の友好の証し。支援を忘れない」と記された竣工板が掲げられています。

園舎は年齢に合わせた保育室が6室、遊戯室（ホール）、調理室、図書室、事務室など保育に必要な設備や備品を備え、安全を確保する防災面、段差の無いユニバーサルデザイン、省エネなどに配慮しています。

1歳児室には友好のしるしとして台湾の花「梅」の名前が、園庭には将来を担う子ども達が台湾など海の向こう

にも心が通うよう「サンタマリア号」と名付けた複合遊具が設置されています。

定員は30名ですが、現在は21名（0歳児1名、1歳児2名、2歳児4名、3歳児7名、4歳児4名、5歳児5名）で運営。幼保一体型の「認定こども園」に認定されれば60名に増やす予定です。

## 創意工夫で困難を乗り越える

ピカピカの園舎には園児たちの元気な声が響きわたり、どの子も笑顔です。柏谷園長は「園舎での保育は震災から実に2年半振り。初登園の日は子どもたちの歓声が沸きおこりました。辛い経験をしただけに強い子どもも育っています」と話し、多くのご支援に感謝しています。

旧「わかき保育園」は震災当日、園児27名（欠席児童1名）と職員4名（1名欠席）で300メートル先の高台にある瑞然寺に避難。瑞然寺の所有する旧タブの木荘（修練所）に避難し、そこからさらに地域の方の軽トラックで旧ホテルタブの木荘に避難し、全員無事でした。



園入口の竣工板

保育の再開は、瑞然寺が所有する修練所（271平方メートル）を仮園舎に、5月1日から保育の受け入れを行いました。給食は修練所の調理室を利用し、住民などから食材の提供を受けながら、0歳児の食事にも対応しました。

山崎施設長代理は「困難を乗り越えようと無我夢中でした。絵本や遊び道具もない中、新聞紙で遊具を作り、限られたスペースを仕切りながら対応しました。職員は復興に走り回る町民や保護者のために、保育園の役割と責任を果たそうと真剣でした」と当時を振り返ります。

津波や火災で家屋や家族を亡くした職員や園児もおり、園児4名は仮設住宅から登園しています。

## 「人の絆」を理念に3施設が完成

山田町で循環型の「福祉の里」づくりを進めてきた社会福祉法人親和会（山崎幸男理事長）は、東日本大震災で「わかき保育園」「障がい者ケアセンター希望」「小規模多機能センターやすらぎ」「障がい者支援施設はまなす学園」の4施設を失いました。

「はまなす学園」を除く3施設は、



## マイナスからの再出発 元気を発信する地区の拠点に



柏谷千代子 園長

鉛筆1本、机ひとつなかったマイナスからの再出発だけに感慨無量です。多くのご支援に応えるためにも安全で安心な保育実践を重ねたいと考えています。

この2年半で生活環境は一変しましたが、子ども達は伸び伸びと逞しい子に育っています。明るい笑顔と元気を地域に発信しながら、地区の拠点となる開かれた園を目指しています。



移転新築した「日中きずな保育園」



移転新築した「保育園」の下が「障がい者グループホーム絆の里希望」、その手前に「小規模多機能センター絆の里やすらぎ」が建設されています



## 感謝の心を持った強い子に育てたい



山崎千年 施設長代理

悲しんでいる暇もなく、何が何でもこの子ども達を守らなければと一歩ずつ前に進んできた2年半でした。多くのご支援に感謝し、また、子ども達にも伝えていきたいと考えています。

仮園舎では子ども達の創意工夫を引きだし、異年齢の子ども同士が一つの家族でした。人と人とのきずなを大切にしながら、強い元気な子に育てていきたいと思えます。

社会福祉法人親和会 日台きずな保育園  
山田町船越9-26-4 ☎0193-84-3368

同じ高台に「日台きずな保育園」「障がい者グループホーム絆の里希望」「小規模多機能センター絆の里やすらぎ」と名称を変えて移転新築。10月7日に町関係者らを招いて3施設合同で落成式を挙行しました。

「障がい者支援施設はまなす」は豊間根地区に建設中で、来年2月の完成を予定しています。

法人では子ども、障がい者、高齢者、そして全ての町民が安心して安全に暮らすことができるよう、「人と人との絆」「和の心」を大切にされた地域福祉の充実発展に努めたいとしています。

園の「生活発表会」は12月中旬に開かれます。同じ高台にある高齢者・障がい者施設の利用者、施設そばの「浦の浜仮設住宅団地」の住民らもお招きし、寸劇や遊戯発表のほか一緒にゲームなどを楽しみたいと考えています。

全社協

# 保育所のためのしせつの損害補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険  保険料試算ができます

## 有利な補償と割安な保険料です

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している認可保育所です。

### プラン1 保育所業務のための補償

- ① 基本補償
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

必要な補償を3つのプランでご用意しました

### プラン2 保育所利用者のための補償

- ② 園児の傷害事故補償
- 地域子育て支援拠点事業等参加者傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

### プラン3 保育所職員のための補償

- ① 保育所の労災上乘せ補償
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

プラン1-①		補償額	年額保険料	
賠償事故に対応 お見舞い費用	対人賠償(1名・1事故)	1億・7億円	園児1~50人	17,300~22,700円
	対物賠償(1事故)	1,000万円	園児51~100人	23,900~29,300円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	園児101人~150人	30,500~35,300円
	うち 現金補償限度額(期間中)	20万円	加入例	
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	園児50人	保険料22,700円
	初期対応費用(期間中)	500万円	園児100人	保険料29,300円
見舞費用(期間中)	10万円			
プラン2-②		補償額(1口あたり)	年間保険料	
死亡保険金		103万円	1名/1口あたり	530円
後遺障害保険金		程度に応じて死亡保険金額の3~100%	加入例(1口加入)	
入院保険金(1日あたり)		800円	園児60人	31,800円
手術保険金		8,000円・16,000円・32,000円	園児80人	42,400円
通院保険金(1日あたり)		500円	園児100人	53,000円

団体契約者  
社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**  
(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

取扱代理店  
株式会社 **福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763